

趣味の紹介です。その昔私は「ラジオ少年」でした。ラジオ作りが大好きだったのです。鉱石ラジオが最初で、半田ごてとラジオペンチを駆使して並四ラジオ、五球スーパーラジオの組み立てに情熱を燃やしていました。ラジオ作りに必要な測定



器・テスターを手に入れるために新聞配達をして、でかい野良犬に追い掛け回されたあげくに噛みつかれたことがありました。成年ですが、以来犬はコワイ天敵、今でも勝てそうにない犬と遭遇すると避けて通ります。

高校受験の時父親から半田ごてを取り上げられ我慢の時期がありましたが、工業高校に入学、理論から学ぶことが出来ました。学校の帰りには秋葉原の電気街に足繁く通い続けました。大学も理工学部だけの単科大学に進み、ラジオ好きはさらに高じて奥深いオーディオの世界に身を投ずることになりました。

就職してお金が入ると一段と世界は広がり、それなりのシステムを手に入れることが出来ました。それまではオトキチの王道としてアンプやスピーカーシステムを自作していましたが、技術の進歩は著しくオーディオメーカーのそれぞれのカテゴリでの秀逸な製品を求めるようになりました。今の時代ネットオーディオが席卷していますが、私のシステムはまだ LP・CD プレーヤ、プリ・メインアンプ、スピーカーで成り立っています。

システム全体で 20 万円の装置と 50 万円の装置に音の違いはなく、100 万になって初めて違いが出てきます。その上は 1 千万というように音の優劣の段階と価格は対数の世界です。音響メーカーの御三家山水・トリオ・パイオニアは消えハイエンドオーディオは欧米のメーカーで占められるようになりました。クルマや骨とう品の世界も奥深いようですが、オーディオも男の道楽としては最たるものと思います。生演奏には



かないませんが、音楽会には自分のシステムがいかに原音に近いかを確かめるために聴きに行きます。奥さんに多大な迷惑をかけていることを自覚しつつ、愛機に灯を入れる至福の時間がいつまでも続くことを願っているこの頃です。